

## 全国植樹祭を機運とした「もり・ひと・木づかい魅力発信」について

### 1 はじめに

県南広域振興局では、森林・林業の持続的発展を図るためには、フィールドの整備(もり)、担い手の確保(ひと)、木材利用の促進(木づかい)が必要と考え、その目的に応じた森林・林業の魅力発信する取組を進めています。

6月4日に第73回全国植樹祭北上サテライト会場において、地域経営推進費を活用し3つの取組を実施しましたので、その概要を紹介します。

### 2 実施内容

#### (1) 高性能林業機械の実演・試乗体験【もり】

意欲と能力のある林業経営体((株)佐藤木材)の協力のもと、ハーベスタのデモンストレーションを行いました。普段見ることがない機械が10メートルほどの原木を瞬く間に揃えて玉切る迫力に、会場に集まった方々は息をのんで見学していました。

佐藤木材の代表からは、林業の作業がキツイ・キタナイのイメージは昔の話、今はカッコイイ魅力的な環境に移行しているとの説明が印象的でした。



#### (2) 伐木技術指導員によるチェーンソー技術の実演【ひと】

岩手県伐木技術指導員の小原孝氏の協力のもと、チェーンソーアートの実演を行いました。会場に集まった方々は、巧みなチェーンソー捌きで次々と作品を作り上げていく技術に驚き、何ができるのか興味津々、間伐材や林地残材を利用して完成した作品を見て、ふれて、その感触を楽しんでいました。



#### (3) 木育体験【木づかい】

花巻おもちゃ美術館の協力のもと、出張木育体験を行いました。会場には「ひつつきむしのトンネル」やグッドトイに選ばれた人気の木製おもちゃが所狭しと用意され、「木の香り」「手ざわり」「暖かみ」など、木の魅力に子供だけではなく大人も楽しく遊んでいました。



### 3 おわりに

今後の取組では、森林公園を活用した森林環境教育や、山しごとの魅力を共有する交流会等に取り組むこととしております。